

HDR360GW/HDR361GW 専用 フォークリフト取付けキット HDROP-FK1

株式会社コムテック
<https://www.e-comtec.co.jp>
 〒470-0151 愛知県豊田郡東郷町大字諸輪字池上1-1
 Ver1.0_816012

お問い合わせ
 コムテック サービスセンター
0800-200-5654
 受付時間 10:00~17:00
※土日祝日・年末年始・夏季休暇、GW等、弊社指定期間を除く。
 ※携帯電話・PHS・公衆電話・IP電話からは下記へ。
0561-56-1814 (有料)

◆商品説明

本製品を使用することで、弊社製360°カメラドライブレコーダー「HDR360GW」「HDR361GW」をフォークリフトへ取付けることができます。ドライブレコーダーの操作等の詳細については、それぞれの取扱説明書をご確認ください。

⚠ 警告

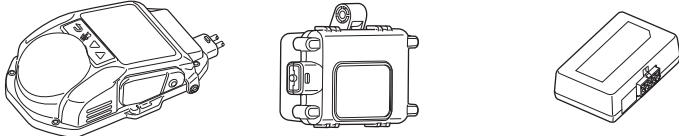
- 配線作業中は、バッテリープラグを外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。
- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- ボルト・ナットを締め付けるときは、寸法の合った工具を使用して確実に行ってください。指示トルクがあるものは規定トルクで締め付けてください。ボルト・ナットをいためたり、外れるおそれがあります。

⚠ 注意

- 本製品はIP54相当の防塵・防水ケースですが、完全防水ではありません。
- コードをかみませたり、強く引っ張らないでください。断線やショート事故になるおそれがあります。
- コネクターを外すときは、リード線を引っ張らずにコネクター本体を持ってロックを外してください。リード線の断線や、接触不良の原因となります。
- 高圧洗浄機等を使用する場合、本製品の周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれや深刻な損傷を与える場合があります。
- プラスチック部品には、ひっかき傷のように見える細い線が入ることがあります。これは成型時に発生するもので、透明な部品の場合は特に目立ちやすいですが、プラスチック製品に現れる特有のもので、キズ・割れなどではありません。

◆梱包内容と名称(個数)

- メインカメラ用 防塵・防水ケース (1 個)
- リヤカメラ用 防塵・防水ケース (1 個)
- DC-DC コンバーター (1 個)

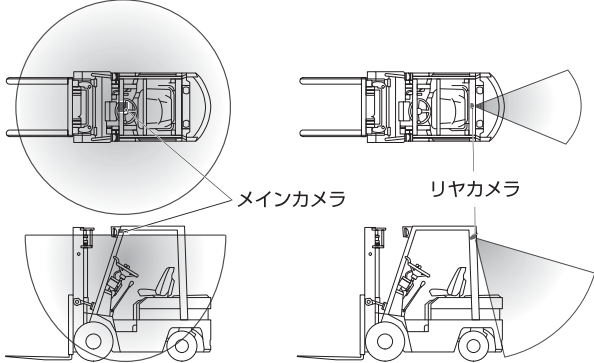


- 金属ステー (1 個)
- DC-DC コンバーター ハーネス (1 個)
- M2×6 ネジ (12 本) ※予備ネジ 2 本含む
- 結束バンド (3 本) 約 150mm
- コードクランプ (15 個)
- 【本書】取扱説明書 (保証書付き)
- 脱脂クリーナー (1 枚)

◆取付け構成図

- メインカメラ取付位置
※ヘッドガードの天井に取付け

- リヤカメラ取付位置
※ヘッドガードに後ろ下向きに取付け



⚠ 警告

- 取付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、フォークリフトの機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取付けてください。誤った取付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

- 両面テープは所定の位置に、しっかり取付けてください。
- 視界の妨げにならないように取付けてください。
- 車両の操作や動作の妨げにならない場所に取付けてください。
- 直射日光の当たる場所や密閉された場所など温度が上がりやすい位置に取付けないでください。
- 取付け前、カメラを仮固定し配線を通す場所を確認し、カメラケーブルや電源ハーネスが接続可能な位置が確認してから行ってください。
- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱の原因となりますので、結露したまま使用しないでください。

保証書

保証期間
下記ご購入日より1年間有効

コピー不可

●お客様 お名前: ご住所: TEL:	●販売店様 ※必ずご記入ください。 店名: 住所: TEL:
●故障・修理内容	
購入年月日	年 月 日
車種・年式・型式	

製品名	HDROP-FK1	シリアル番号	
-----	-----------	--------	--

※保証書は販売店名・購入年月日・シリアル番号の証明が無くても保証対象外とさせていただきます。
 ※対象はカメラ用防塵・防水ケース(メイン・リヤ) DC-DC コンバーターです。

◆保証規定

1. 保証の内容
 取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理(保証修理)を受けることができます。(以下、この無償修理を保証修理といいます)

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。ご提示がない場合、保証修理をお受けいたしかねます。
 なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はおお客様のご負担になります。また送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。

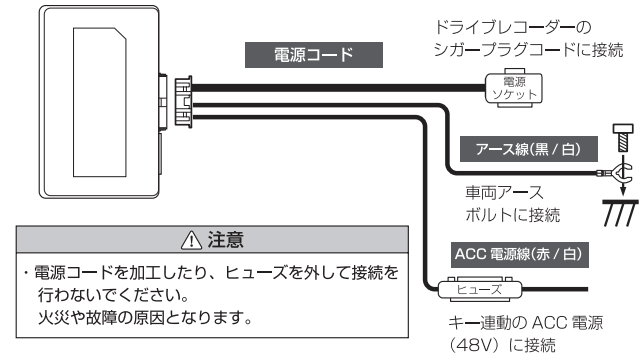
3. 保証しない事項

- 保証期間内でも次のような場合には保証修理いたしません。
 - 取扱説明書に記載されている"警告・注意・ご使用上のお願い"その他記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。
 - フォークリフト以外の用途で使用されたことによる故障または損傷。
指定以外 (DC48V) の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。
 - ご使用によって生じる外観・美観・色あせなどの外観上の現象。
 - 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用による故障または損傷。
- 次に示すものの費用は負担いたしません。
 - 商品を使用できなかったことによる不使および損失。
 - 本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害(修理品の送料、脱着工費)に対する補償。

◆DC-DCコンバーターを接続する

- 座席下等のボンネットカバーを開け、下図のようにそれぞれ正しく接続する。

DC-DC コンバーター

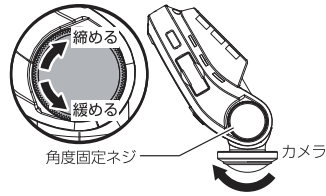


⚠ 注意
 ・電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。
 火災や故障の原因となります。

- 結束バンドなどを使用してボンネット内や車両の操作や動作の妨げにならない場所、また、雨水のかからない場所にDC-DCコンバーターを固定する。
 ※ DC-DCコンバーターは防水ではありません。
- ドライブレコーダーのシガープラグコードと電源ソケットを接続する。
- メインカメラの電源接続コネクターに電源コードを接続する。

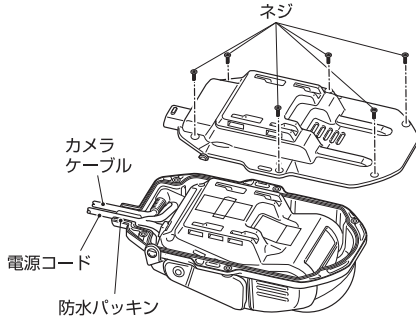
◆メインカメラを取付ける

- 1) カメラの角度固定ネジを緩め、カメラレンズの向きを液晶側限界まで調整する。調整後に角度固定ネジを締める。



- 2) メインカメラにカメラケーブルを接続し、メインカメラ防水ケースを取付けてネジで固定する。

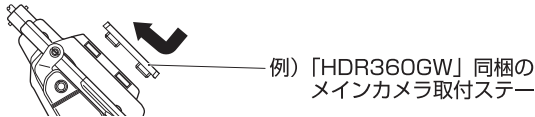
※右記のようにケースの防水パッキンに電源コードとカメラケーブルをセットしてケースを閉じてください。



- 注: 電源コードの収縮チューブを防水パッキンに挟み込まないように下図のように一周巻いて収縮チューブを避けて挟み込んでください。
- 注: 電源コードとカメラケーブルをセットした防水パッキン部は結束バンドで締め付け、ビニールテープを巻いて防水処理を行なってください。

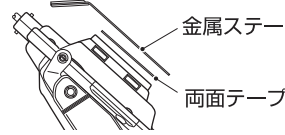


- 3) ドライブレコーダーに同梱のメインカメラ取付ステーをメインカメラ防水ケースに取付ける。



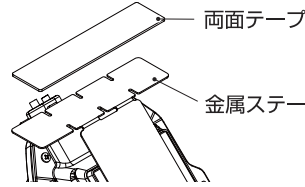
- 4) ドライブレコーダーに同梱のメインカメラ取付ステー固定用両面テープ使用し、金属ステーに固定する。

•注: 両面テープを貼付ける前に同梱の脱脂クリーナーで、貼付け面の油分や汚れをキレイに拭き取ってください。



- 5) 本書記載の【警告】、【注意】の内容に従って取付位置が決まったら貼付位置をテープなどでマーキングし、取外す。

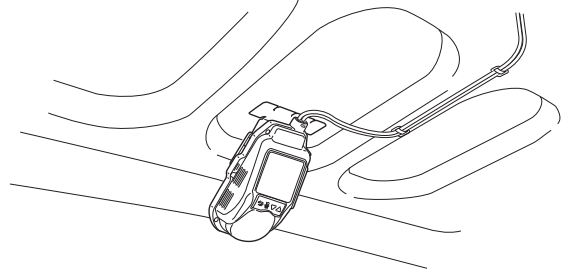
- 6) 金属ステーに金属ステー固定用両面テープを張付ける。



- 7) 付属の脱脂クリーナーで貼付位置を清掃し、よく乾かした後、フォークリフトにメインカメラ防水ケースを貼付ける。

- 8) 電源コードの配線の取回しを行なう。

※運転の妨げにならないように、結束バンドやコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。



◆リヤカメラを取付ける

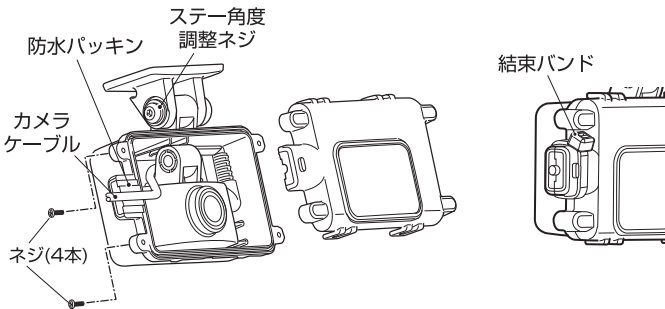
- 1) リヤカメラ取付ステーを取外し、リヤカメラ防水ケースにステーを取付ける。

※ステー角度調整ネジの平ワッシャー、バネ座金の紛失に注意してください。

- 2) リヤカメラのカメラ接続端子に、カメラケーブルを「カチッ」と音がなるまで押し込み接続し、リヤカメラ防水ケースを取付けてネジで固定する。

※下記のようにケースの防水パッキンにカメラケーブルをセットしてケースを閉じてください。

- 注: カメラケーブルをセットした防水パッキン部は結束バンドで締め付け、ビニールテープを巻いて防水処理を行なってください。



- 3) ステーの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を調整して、ネジを締める。

※仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。

※ステー部を貼付位置に仮あてし、液晶の映像を確認しながらリヤカメラがお好みの位置になるように角度を調整してください。

- 4) ドライブレコーダーに付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよび貼付位置を清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、貼付位置に貼付けます。

- 5) カメラケーブルの配線の取回しを行なう。

※運転の妨げにならないように、結束バンドやコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。

◆ドライブレコーダーの設定

- 1) フォークリフトでは衝撃録画を検知しやすいため、メインカメラの機能設定で「Gセンサー」の設定を[L.V.2] (初期設定) から[L.V.4] (もっとも鈍感) に変更する。

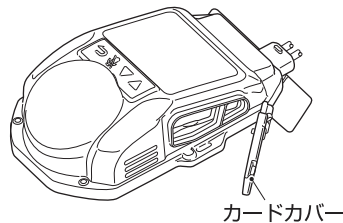
※機能設定の方法については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

※駐車監視モードは使用できません。

◆microSD カードの取り出し

- 1) メインカメラ防水ケースのカードカバーを開け、ドライブレコーダーのカバーを開けてmicroSD カードを取り出す。

※microSDカードの取り出し方は、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。



⚠ 注意

- カードカバーを閉じる際はしっかりと閉じてください。しっかりと閉じ密封されていないと、そこから水等が入り故障の原因となります。
- 雨天時や濡れた手で防水ケースやmicroSDカードスロットのカバーの開け閉めを行なわないでください。本体内部に浸水し、故障の原因となります。
- 万一、ケース内に水分が侵入したらケースからカメラを取外し、付着した水分を乾いた柔らかい布で拭き取ってください。